

現代アートや舞台芸術、映像のための音楽など幅広い分野で活躍。

2019年も様々なプロジェクト/作品に参加している京都の音楽家 原 摩利彦。

これまで不定期に開催してきた室内楽コンサートシリーズ《FOR A SILENT SPACE》初となる劇場での公演です。
ピアノを中心とした楽曲、フィールドレコーディングや電子音響を用いた即興演奏など、
音楽家 原 摩利彦の世界を存分に堪能できる時間となります。



Marihiko Hara 《FOR A SILENT SPACE》

日程：2019年12月2日（月）

会場：ロームシアター京都 ノースホール

開場：18:30 / 開演：19:00

出演：原 摩利彦

照明：吉本有輝子（真昼） 音響：川合陽三（Riverfise LLC.） 舞台監督：大鹿展明

主催：night cruising 共催：ロームシアター京都（公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団）

チケット料金：4,000円（税込/全席自由）

オンラインチケット 24 時間購入可 ※要事前登録(無料) <https://www.e-get.jp/kyoto/pt/>

・ロームシアター京都チケットカウンター TEL.075-746-3201 (10:00~19:00/年中無休 ※臨時休館日をのぞく)

・京都コンサートホール チケットカウンター TEL.075-711-3231 (窓口・電話とも 10:00~17:00/第1・3月曜日休館 ※休日の場合は翌日)



原 摩利彦（はら まりひこ）

京都大学教育学部卒業。同大学大学院教育学研究科修士課程中退。

音風景から立ち上がる質感／静謐を軸に、ポスト・クラシカルから音響的なサウンド・スケープまで、舞台・ファインアート・映画など、さまざまな媒体形式で制作活動を行なっている。

ソロ・アーティストとしてアルバム《Landscape in Portrait》、《RADIX》をリリース。亡き祖母の旅行写真とサウンドスケープの展覧会《Wind Eye 1968》を発表。坂本龍一とのセッションやダミアン・ジャレ+名和晃平《VESSEL》、野田秀樹《鷹作 桜の森の満開の下》の舞台音楽などを手がける。

アーティスト・コレクティブ「ダムタイプ」に参加。